

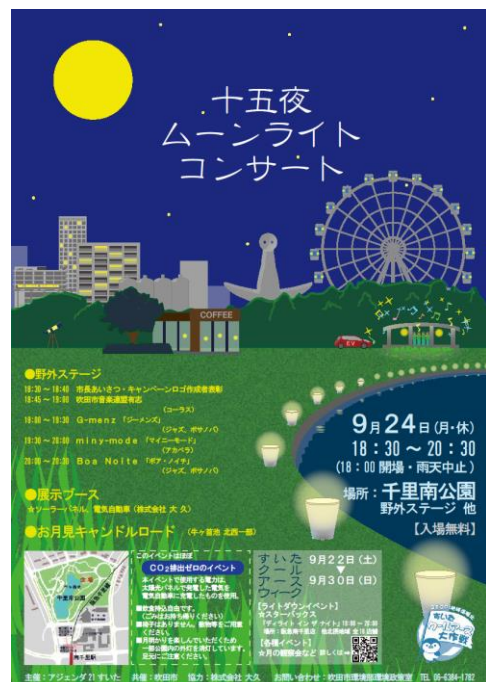
平成30年度 アジェンダ21すいた 事業活動報告

1 フラグシッププロジェクトの推進

1 事業内容

(1) 地球温暖化防止プロジェクト

フラグシッププロジェクト「すいたクールアース大作戦」は3年目に突入しました。新しいプロジェクトとしては、平成30年9月22日(土)～9月30日(日)に実施した「すいたクールアースウィーク」です。



1-1 すいたクールアースウィーク

これは、市内公共施設、企業、各種団体の皆様に、「地球温暖化防止に向けた取組の全市民的な促進」を目的に、節電等の省エネ活動、地球温暖化に関する啓発運動、展示などに取り組んだものです。具体的な取組は、以下の通りです。

<取組1> ディライト イン ザ ナイト (スターバックス)

日時：9月22日(土)～9月30日(日) 19:00～20:00

場所：阪急南千里店 他北摂地域 全18店舗

ウィーク期間中はもちろん、十五夜ムーンライトコンサート当日も、会場の南千里駅前公共広場の前に位置する阪急南千里店で、ライトダウンの営業をしていただいています。

<取組2> 月の観察会 (吹田市自然体験交流センター)

日時：9月24日(月・休) 18:00～20:00

場所：わくわくの郷・吹田市自然体験交流センター

この日は、「中秋の名月」です。満月の一日前にはなりますが、天体望遠鏡を使ってほぼまんまるのお月様を観察する観察会が開催されました。

<取組3>講座「月のパワー、暦のリズム」（吹田市立博物館）

日時：9月24日（月・休）10：30～12：00

場所：千里市民センター 多目的ルーム（2）

吹田市立博物館の中牧館長が月と暦、両者の相関関係について興味深いお話をしてくださいました。

<取組4>モチモチ白玉団子をつくろう（青少年活動サポートプラザ）

日時：9月24日（月・休）14：30～16：30

場所：子育て青少年拠点夢つながり未来館 調理室

小学生から29歳までを対象に、中秋の名月にちなみ、みなさんの手で白玉団子をつくり、交流を深めるイベントが開催されました。

<取組5>「月」をテーマにした絵本の読み聞かせ・関連図書のコーナーの設置（吹田市内の各図書館）

開催日：9月22日（日）～9月30日（日）

市内の各市立図書館でも、「月」をテーマにした絵本の読み聞かせや関連図書コーナーを設置してくれました。また、吹田市立山田駅前図書館では、9月27日（木）夢つながり未来館の1階フロアで、リサイクル本とリサイクルおもちゃコーナーを催していただきました。

<取組6>図書館 協賛ミニ展示（関西大学 千里山キャンパス 総合図書館）

開催日：9月の1か月間

地球や環境問題について書かれた著書がずらりと並びました。貸出しもされており、学生の若い世代に読んでもらえる機会となりました。

<取組7>キャンドルライトによる営業（スパゲッテリア マッキー di HAYASHIDA）

開催日：9月22日（土）～9月30日（日）

夕刻から毎日、キャンドルの明かりで営業してくださいました。

<取組8>ノルディックウォーキングで帰ろう

開催日：9月25日（火）

詳細：

「すいたクールアースウィーク」期間中に、後藤市長にも環境に優しい行動を実践していただきたいと事前に要望していたところ、市役所での勤務後、自宅まで徒歩で帰ると宣言し

ていただきました。市役所を出発し、片山公園、大和大学を通過、後藤市長が幼少期を過ごした原町を抜け、吉志部神社前を通り、山田下交差点まで、約6kmを1時間30分かけて歩きました。道すがら、後藤市長の思い出話、お気に入りの店舗の紹介など、会話ははずみ楽しい時間となりました。



<取組 9>ガンバ大阪の選手もエコ宣言！ 遠藤選手、倉田選手、東口選手、三浦選手
大阪大学と「Inforest すいた」の協力を得て、大阪大学工学部食堂・大阪大学歯学部附属病院・ららぽーとエキスポシティ 1 階・吹田市役所正面玄関の4か所でパネル展示を行いました。



これらの展示に向けて、(株)ガンバ大阪には4名の選手に撮影協力をしていただき、遠藤保仁(えんどう やすひと)選手には「不要な照明スイッチオフ」、倉田秋(くらた しゅう)選手には「近くは歩いておでかけ」、東口順昭(ひがしぐち まさあき)選手には「残さず食べてごちそうさま」、三浦弦太(みうら げんた)選手には「お買いものはマイバッグ」と、カメラの前でそれぞれのポーズをしていただきました。

この他にも、以下の通り、吹田市内の企業・大学・団体・公共施設が参加しました。

(株)アサヒビール吹田工場、大阪アニメーションカレッジ専門学校、大阪学院大学・大阪学院大学短期学部、(株)ガンバ大阪、(株)大久、(公財)吹田市文化振興事業財団(メイシアター)、大阪ガス(株)、国立大学法人大阪大学、関西大学、NPO法人ここ、吹田商工会議所、(株)ダスキン、(株)ヒロコーヒー、リコージャパン(株)、(公財)千里リサイクルプラザ(くるくるプラザ)、吹田市立男女共同参画センター、(株)日比谷アメニス(花と緑の情報センター)、NPO法人吹田歴史文化まちづくり協会(浜屋敷)

1-2 十五夜ムーンライトコンサート

メインイベントとして、9月24日（月・休）夜6時半から9時まで、南千里駅前公共広場で「十五夜ムーンライトコンサート」を開催しました。

市長挨拶に続き、「すいたクールアース大作戦」の素敵なロゴ作成者の眞野 明伽莉さん（大阪アニメーションカレッジ専門学校）の表彰を行いました。

コンサートは、コーラスやアカペラのグループに5組出演していただき、熱気あふれる歌声に、時折雲の切れ間からお月さまもチラッと顔を出す場面もありました。

ステージの音響・照明は、キャットミュージックカレッジ専門学校のご協力で学生さんが担当してくださいました。このイベントは、（株）大久のご協力のもと太陽光パネルで発電し電気自動車に充電した電力を使用した地球温暖化の原因となる「CO₂排出量ほぼゼロ」となっています。



1-3 すいた環境教育フェスタ

平成31年2月2日（土）、吹田市文化会館（メイシアター）で、「おたのしみ抽選会」を開催し、地球温暖化防止の啓発を目的に直筆サイン入りの大型パネルを贈呈しました。

また、市が出展したエコドライブ体験会では、成績優秀者に直筆サイン入りポストカードをプレゼントしました。



1-4 くるくるアースフェスタ

平成31年2月17日（日）、ららぽーとエキスポシティ「光の広場」で吹田市と「アジェンダ21すいた」、（公財）千里リサイクルプラザが共催で開催しました。

本イベントに向けて、これまで集めてきた写真にエコに関するメッセージを織り交ぜた動画「エコ宣言ムービー」を作成し、広場にある巨大スクリーンにて上映しました。この映像を観た方にも、環境に負荷のかからない生活様式が広まることをねらいとしています。

来場された方々にも、この日を機に、市民の皆さま一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルを心がけてくださることを願っています。

また、地域の大学生とも連携し、関西大学、大和大学の学生に、ブースの運営などを担っていただきました。



参加者：約3,500名

（『平成30年度（2018年度）公益財団法人 千里リサイクルプラザ 事業報告書』より）

(2) 食品ロス削減プロジェクト

2-1 すいた食べきり運動啓発キャンペーン

平成30年11月からJR吹田駅周辺と大阪メトロ江坂駅周辺のお店にプロジェクトメンバーが出向き、「すいた食べきり運動」に協力を求めた結果、54店舗の賛同が得られました。賛同していただいたお店には、ポスターやステッカーなどが貼ってあったり、卓上シートや幹事用マニュアルを置いていただいたりしています。このキャンペーンのキャラクターは「ペロリンコ」といいます。「おいしく全部ペロリンコ！」と呼び掛けています。





2-2 すいた環境教育フェスタ

市と連携して、食品ロス関連のパネル展示をしました。また、環境のクイズに挑戦した来場者には、ちらしと缶バッチ 150 個程度を配布しました。

2 実施評価及び課題

「環境のことを考えることはとても大事」、そのようにみんなが思う時代になってきています。でも皆さん、家庭や仕事が多忙で、関わりたくても時間が取れない、どうすればよいかわからない、そのような時代でもあるのでしょうか。

「ちょっとだけ参加して、楽しみ考えながら何かエコな行動に踏み出してみる」、そのような機会を増やせば、きっと、自分も環境ボランティアに関わってみたいという若手も増えることでしょう。市民の皆さん、企業や組織の皆さんが、楽しく、明るく、無理なく環境行動に取り組み、そしてその輪が大きく広がるようにと、今年も知恵を絞っていきたいです。

「地球温暖化防止プロジェクト」では、来年度も引き続き、「すいたクールアース大作戦」を行い、個人はもちろん、市内の大学や事業者にも協力してもらい、全市的な取組へ発展していくよう企画を進めていきます。

「食品ロス削減プロジェクト」では、食品ロスが大量に発生することや、少し意識するだけでロスを減らせることを多くの皆さんにわかっていただくために、今後、吹田市内のお店にステッカーやポスターなどを掲示していただく「協力店」を増やすとともに、市民向けのイベントを開催していく方針です。

2 全体事業

(1) 市内環境団体との連携・交流

1 事業内容

1-1 すいた環境教育フェスタ 交流会

すいた環境教育フェスタの前日、平成 31 年 2 月 1 日（金）、すいた環境教育フェスタの運営委員である市内環境団体と企業、10 団体、19 名による交流会を「アジェンダ 21 すいた」主催で実施しました。昨年に引き続き、今年度で 3 回目の実施です。

この交流会の趣旨は、運営委員会で顔を合わせていても、なかなか交流する機会がなく、すいた環境教育フェスタ当日も、各団体のブースの運営に時間を取られて、他団体が何をし

ているのか、分かり合えないでいます。そこで、せっかく環境を切り口に集まった団体なので、活動の分野や、すいた環境教育フェスタでの展示あるいは体験イベントの内容を説明してもらって、交流を深めようというものです。

(2) ヒートアイランド／熱中症予防啓発事業

事業内容

吹田市水道局は、市民に水道を身近に感じてもらうために毎年「すいすいくん祭り」を開催しています。今年は、晴天の平成30年7月22日（日）に開催されました。

「アジェンダ21すいた」の一会員として、「NPO法人すいた環境学習協会」のエコクラフトクラブが出展し、「水鉄砲」134個と「バンブーアート」33個を提供しました。

これは、打ち水の効果をねらってヒートアイランド対策やまつりに参加している子どもたちの熱中症対策を行ったものです。

また、この活動は、熱中症予防声かけプロジェクト実行委員会が実施している「ひと涼みアワード2018」で、「すいすいくん祭り 竹の水鉄砲エコクラフト教室と水遊び」のタイトルで、「優良賞」を受賞しました。



(3) ニュースレターの発行

事業内容

会員への情報提供及び市民への環境保全活動の普及を目的に、年4回（平成30年7月、10月、平成31年1月、4月）発行しました。

(4) エコプレス

事業内容

「暮らしのCO₂ダイエット」参加者等を対象に、環境情報のツールとして、年4回（平成30年7月、10月、平成31年1月、4月）を発行しました。取材・編集は、関西大学良永ゼミの学生の皆さんが行っています



(5) すいた環境教育フェスタ

事業内容

平成31年2月2日（土）、吹田市文化会館（メイシアター）において行われたすいた環境教育フェスタでは、エネルギー部会が行った「エコキャンドル作り講座」と「温暖化ストップ実験」、資源部会が毎年実施している、マイボトル・マイカップ持参者にお茶のサービスをする「給茶コーナー」の2つの体験コーナーで参加者に楽しんでもらいました。



(6) ホームページの管理・運営

事業内容

平成30年6月から平成31年5月にかけて、「アジェンダ21すいた」の活動を広く市民に情報発信しました。

(7) 定時総会運営事業

事業内容

平成30年7月1日(日)に定時総会を開催し、映画上映会及び懇親会を実施しました。

映画上映会では、廃棄食材を調理し、食費0円の料理を提供することで、食糧危機に警鐘を鳴らすドキュメンタリー映画「0円キッチン」(ダーヴィット・グロス、ゲオルク・クッシュ監督、2015、豪)を鑑賞、問題意識を共有しました。その後は懇親会も行い、会員相互の親睦を深めました。



3 部会別事業

【エネルギー部会】

1 事業内容

省エネ型ライフスタイルの普及・啓発や、再生エネルギーの利用を促進するための仕組みづくりを進めます。

1-1 CO₂ダイエット学校版

環境学習として学校版CO₂ダイエットに取り組む学校の発掘に取り組みました。平成30年4月に教育委員会主催で行われた小中学校環境教育担当者会に出席し、概要を説明しました。その際に配布・回収したアンケートによりますと、環境学習に取り組みたい小学校が4校あったため、市内各校で環境教育と啓蒙活動を行っているSELFに協力をもらい、参加校を開拓しましたが、最終的に見当たりませんでした。環境学習発表会のテーマとなるような内容を求めていることは分かりましたので、今後の参考にします。

また、枚方市「みんなのエコライフつうしんぼ」を参考に子ども版CO₂ダイエットのチラシを作成し、小学生に配布、各家庭で参加してもらうことを企画しました。夏休み期間中の取り組みとして考えましたが、検討期間が不足するため、冬休み期間の実施をめざし、内容を部会で精査しました。教育委員会とも相談を重ね、校長会を通じ参加を呼び掛けましたが、参加校はありませんでした。単純に結論は出せませんが、学校を通じて配布・回収する方法を採ったため、多忙な学校の現状にそぐわなかったことも理由のひとつと考えられます。

1-2 エコキャンドル作り

家庭から出た廃油を再利用してキャンドル作りのイベントを行いました。

- ① 吹田博物館夏季イベント 平成30年8月5日(日) 参加者=小学生24名(親同伴)
- ② 同上 平成30年8月12日(日) 参加者=小学生18名(親同伴)
- ③ ABCハウジング 平成30年10月13日(土) 参加者=100名
(資源部会との共催)
- ④ 千里新田青少年対策委員会 平成31年1月19日(土) 参加者=小学生30名
- ⑤ すいた環境教育フェスタでのブース出展 平成31年2月2日(土)
参加者=35名(小人・大人)

1-3 火力発電実験装置の活用

地球温暖化問題の啓発のため、IHコンロ等でお湯を沸騰させ、その蒸気によってタービンを回し、照明を点灯させる実験装置を各種行事で展示、説明し、概ね好評でありました。装置の維持管理に課題がありますが、今後も継続して保有していきます。

1-4 「省エネ相談会」

家庭やオフィスの省エネに迷っている方を対象に実施しました。どれくらいのニーズがあるのかを調査する観点も踏まえ、初めての試みとして5月11日、12日に開催された産業フェアにブース出展しました。両日で約50名の相談を受け、一定の成果を上げることができました。

2 実施評価及び課題

今年度はエコキャンドルづくり講座を重点的に開催しました。小学生を中心に多くの参加者のもと実施することができました。油を注いだキャンドルが冷却するまでの時間をどのように有効活用して、環境問題について子どもたちの理解を深めることができるか、試行を重ねた一年でした。特に低学年の児童が参加する場合、高学年の児童との知識や理解力に差があり、対応に苦慮しました。

公民館での開催はできませんでしたが、青少年対策委員会でのエコキャンドル講座を開催することができ、地域との交わりを実現することができました。今後は他地区への拡大が必要です。

企業版CO₂ダイエットへの反応がなかったため、今年度は子どもを通じて家庭の生活習慣を見直してもらうきっかけとなることをめざし、CO₂ダイエット学校版の取り組みに力をいれましたが、授業型もチラシ配布形式についても、実施にいたりませんでした。教育委員会との打ち合わせは数度と重ねましたが、学校現場の想いと一致していなかったようです。学校現場で求められる教材とは何かから検討していきたいです。

【資源部会】

1 事業内容

持続可能な循環型社会を目指すため、使い捨てのライフスタイルを改め、物を大事にする意識の啓発と3Rのリデュースに重点を置いた、ごみを生まない資源循環の仕組みを形成します。

1-1 ごみの減量・資源化のための啓発

「吹田ごみ減量・再資源化推進会議」のメンバーとしての活動をしました。

マイバッグ・食品ロス削減キャンペーン

日時：平成30年10月24日～11月20日 9店舗

1-2 市内に給茶ができるスポットを広げる取り組み

すいた環境教育フェスタにおいて、マイボトル・マイカップを持参すると値引き対応してくれるカフェ5社とコンビニエンスストア1社の情報を展示し、給茶体験として、マイボト

ル・マイカップ持参の人に無料でほうじ茶のサービスを行いました。また、クイズ回答者にマイボトルやティーバッグが当たる抽選も実施しました。

日時：平成31年2月2日

場所：メイシアター

来場者：167名

1-3 エコキャンドル作り

家庭から出た廃油の再利用や、拠点回収場所への持参を呼び掛けるため、廃油からできるエコキャンドル作りを実施しました。

日時：平成30年10月13日

場所：ABCハウジング千里住宅公園

参加者：100名

2 実施評価及び課題

マイボトル・マイカップ持参を呼びかける取り組みは、昨年度に比べて持参者が増えました。今年度も引き続き行っていますが、ペットボトルや使い捨て紙コップなどの削減と、廃プラスチックの問題解決にも触れる必要があります。市内の他のイベントにも参加の方向で、さらなる展開を目指して啓発キャンペーンを広げていきます。

エコキャンドル作りは、作り方の改善ができるまで取り組みを休止し、代わりにマイバッグ持参を促す為の「ふろしきの包み方講座」に取り組みます。

平成30年より「すいたレジ袋削減・マイバッグ協議会」は「吹田市ごみ減量再資源化会議」と組織が変わり、マイバッグや食品ロスのキャンペーンに参加協力しました。次年度も啓発に力を入れて行きます。

「あなたがみつけるエコなお店 in すいた」は、ニュースレターに掲載ができませんでした。情報をいち早く伝える為、トピックスや話題性のある情報を今年度は掲載できるよう努めます。

【自然部会】

1 事業内容

吹田市域において生物多様に配慮し、自然を守り育てる活動を展開し、人と自然が共生できる環境づくりを推進します。

また、啓発活動や講習会を通じて、広く市民の環境意識を高めることを目指します。

1-1 みどりのカーテン普及・啓発活動（エネルギー部会との共催）

計画していた収穫したゴーヤを使った料理講座は、台風の影響により中止となりました。

ヒートアイランド現象の緩和に資するものとして「みどりのカーテン講座」を開催しました。自然部会メンバーが講師となり、ヒートアイランド現象やみどりのカーテンの効果、家庭菜園の楽しさについて講義し、ゴーヤを使ったみどりのカーテン作りの実演を行い、参加者にはゴーヤの苗2株を配布しました。

日 時：令和元年5月25日（土）
場 所：男女共同参画センター（DUO）
参加者：44名

1-2 自然観察会

吹田市の守るべき自然について理解を深め関心を持ってもらうための観察会です。（吹田環境学生ネットワーク、吹田市と共催）

小学生を対象とし、「はらっぱビンゴ」と題してゲーム形式で自然をあれこれ採集、後半は菅井啓之先生（京都光華女子大学教授）による観察会を開催しました。

日 時：平成31年3月23日（土）
場 所：千里北公園
参加者：小学生30名とその保護者

1-3 生物多様性の普及・啓発活動

各種イベントで生物多様性リーフレットを展示・配布し普及・啓発しました。

2 実施評価及び課題

みどりのカーテンの普及啓発活動では、7月に計画していたみどりのカーテンで収穫したゴーヤを使ってのクッキングが天候悪化により中止となりましたが、5月のカーテン講座は例年通りの充実したものとなりました。

自然観察会は、大学生のリーダーと共に回るゲーム形式と講師に解説していただく観察会の2本立てとしたことで、子どもたちの環境に対する意識を高める第一歩となったと思われます。

今後も、テーマに沿って市民にとって具体的でわかりやすく、参加しやすい活動を組み立てていく必要があります。そのためには、部会メンバーだけでなく他団体とも連携しながら進めていくことも模索しなければなりません。

部会事業の参加メンバー（50音順）

エネルギー部会

岡本榮一、笹倉俊男、中野政男、馬場慶次郎、福井一彦、吉田誠

資源部会

伊藤智子、大澤浩子、戸坂篤子、孫田ケイ子、水川晶子、三輪信哉

自然部会

喜田久美子、寺西信明、馬場多佳子、藤田和則